

鹿又小学校自慢新聞

学校紹介

鹿又小学校は今から百四十七年前に、宮城県で最初に建てられた小学校です。そのため歴史があり、職員室前の廊下には、明治から大正時代の白黒の写真が掲示されています。

現在の児童数は、二百九十六人で、東日本大震災後から増加しています。

学校では、「三つの教え」というものがあり、校歌にも、うたわれています。内容は、「自治・協働・勤労」に関して

- 一 自分でせよ
- 一 とともにせよ
- 一 よくつとめよ

で、毎朝全校放送で唱和しています。

また、「なかま」という活動が、毎週水曜日に

行われ、異学年での活動を取り入れています。みんな元気に楽しく生活している学校です。

なかまの活動

縦割り遊び

毎週水曜日の業間の二十五分間に全校十二のグループに分かれて活動します。リーダーである六年生が決めた活動場所のできる楽しい遊びを考え遊んでいます。また、昨年は、運動会も縦割りで行いました。



縦割り掃除

毎週水曜日の掃除は縦割りで行っています。班ごとに掃除をする場所に集まり、みんなで一時間黙想をしてから開始します。上の学年が掃除の仕方を下の学年に教えてあげながら、異学年で交流を深めています。今年で二年目になるので、自分たちで掃除ができるようになりました。

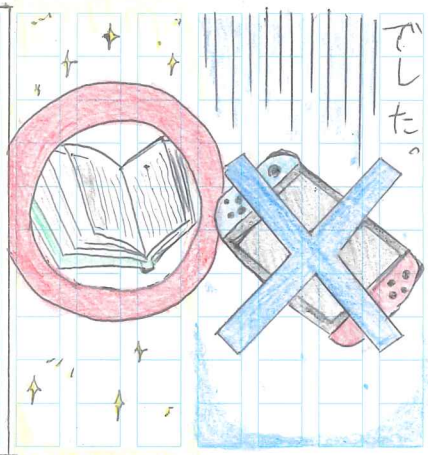
思いっきり遊びほう 放課後遊び

毎週木曜日は、全年放課後遊びを行っています。昨年度は、毎日ありましたが、今年度は、新型コロナウイルスの影響で、九月から一週間に一日だけ実施されています。一年生から三年生までは三時まで、四年生から六年生までは四時まで遊んで下校します。サッカーやバスケットボール、遊具で楽しく遊んでいます。

ゲーム読書

ノーメデイア

毎週火曜日は、メデイアから離れて読書をしたたり、家族と触れ合う時間を作ろうという



編集後記

このように、鹿又小学校は、「なかま」を意識し、みんな仲良く生活しようという活動を通して、思いやりあふれる学校になるように、六年生が中心になり活動しています。